



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年9月7日(月) 第7回 通算第1571回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第7回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 黒澤 信之 会長
- ◇国家斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 渡辺 敬藏 委員長
- ◇お客様並びにビジター紹介

9月誕生祝い

・高橋達也 会員 昭和36年9月30日生

- ◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長



冒頭、今回の台風10号の影響により甚大な被害を受け不安な日々を過ごしている皆様にお見舞いを申し上げます。台風は他の災害とは違って、事前に予想ができるということもありまた過去の教訓も踏まえて180万人もの人に避難指示が出されたということですが、暴風や豪雨の恐怖に耐えながら

過ごす夜はさぞや不安だったことと思います。近年、50年に一度とか100年に一度あるかないかというような自然災害が半年ごとに襲ってくるような異常事態となっております。かつて東日本大震災の時、全国のロータリアンが我々被災地のクラブに多くの善意を寄せて下さったと聞いていますが、経験したことがないような災害が頻発している今、ロータリー全体が連携し、組織だって災害で苦しむ地域の人たちに寄り添い応援していくような専門部門を持つことも必要なのではないかなと感じさせられました。さて、今日は9月に入って最初の例会、2020-21年度体制も3カ月目に入りました。9月は基本的養育と識字率向上月間とされています。我が国日本は、長きにわたり識字率の高さは世界一といわれておりほぼ100パーセント読み書きに不自由することは無いようで、とても誇らしいことだと思いますが、先日テレビ番組で待ち行く人に漢字を書いてもらうという企画をやってみました。東京都葛飾区の葛飾という文字を葛飾区民に書いてもらうというものでしたが、若者から高齢の方まで、なんと正しく書けない人の多いことか！特に葛の間違ひが多く驚かされました。IT技術の発達で文字を書くという機会が少なくなってきているせいなののでしょうか・・・読めるんだけど書こうとすると、あれ？どう書くんだっけ・・・思い当たる節がある方もいるのではないのでしょうか。こちらをご覧ください。ご存じ、今年の漢字一文字でございます。財団法人日本漢字能力検定協会が、その年をイメージする漢字一文字の公募を日本全国より行い、その中で最も応募数の多かった漢字一文字を、その年の世相を表す漢字として、原則としては12月12日の「漢字の日」の午後1時京都府京都市東山区の清水寺で発表することになっているが、必ずしもその日に発表されるとは限らない[注1]。選ばれた漢字を「今年の漢字」と呼ぶ。各メディアでも、「今年の漢字」の呼称が用いられる。1995年(平成7年)に始まった。発表時には、清水寺の奥の院舞台にて、

日本漢字能力検定協会の理事も務めていた貫主の森清範により巨大な和紙に漢字一文字が揮毫される。その後12月いっぱいまで本堂で一般公開されたのち、本尊の千手観世音菩薩に奉納される。第一生命保険のサラリーマン川柳、住友生命保険の創作四字熟語、自由国民社のユーキャン新語・流行語大賞と並んで、現代の日本の世相を反映する一つの指標として使われることが多い。ということでございます。少し気の早い話になりますが、今年の漢字一文字には何が選ばれるのでしょうか。コロナ禍が未だ続く世の中ですが、この「禍」という文字、示偏に高(かい)は、災いや災難を表す文字であり、戦禍、大禍など負のイメージが強いです。現状ではまさに世相を表している言わざるを得ず、私の中の最有力候補となっております。一方で、禍福は糾える縄の如しというように、ぜひ明るい話題が出て希望ある一文字が今年の漢字に選ばれることに期待したいと思います。基本的教育と識字率向上月間にちなんでお話しさせていただきました。本日もよろしくお願ひいたします。

- ◇幹事報告 佐藤 慶行 幹事

○例会変更のお知らせ

・例会変更はございません。

○その他のお知らせ

- ・8月28日開催された歴代ガバナー補佐会議において、次年度2021-22年度、県北第一分区ガバナー補佐候補として、当クラブの佐藤宗弘会員が推薦されました。今後は地区運営規定により3回のガバナー補佐候補者研修を経て、志賀利彦ガバナーエレクトより指名されることとなりますのでお知らせ致します。
- ・本日午後6時30分より9月理事会を開催致します。役員・理事の皆様宜しくお願ひ致します。
- ・9月ロータリーレートは1ドル106円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

- ◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会 根本 いずみ 委員長

*「ロータリーの友」9月号紹介

横組P3 RI会長メッセージ

7月号の会長紹介で「青少年交換プログラムに熱心であること」や「型破りな存在」と表現されたホルガー氏ですが、今回新しい試みとして、会長メッセージ欄を会長夫妻と親交の深い1人のロータリアンに譲り、その彼女からのメッセージが発信されています。彼女(クリスティーンさん)は13年前のサマーキャンプでホルガー夫妻に声をかけられ、ロータリーアクトクラブを訪ねたことがきっかけで入会、今ではロータリーアクトクラブの相談役に就いています。また、アクトクラブで成長する中、今度は新しい現代的なロータリークラブを紹介されます。オンライン会合やリラックスして親しみやすい雰囲気ですっかりはまり、入会したそうです。彼女は今や、ロータリーアクトクラブの会員でもあり、ロータリアンでもあります。個人的な目標として、この2つの世界

に橋をかけたいという思いや、ロータリー家族の一員であり続けることのストーリーが語られています。

P 8～11 特集「基本的教育と識字率向上月間」から、基本的教育・識字と聞けば、海外の問題と思いがちですが、日本の15歳年齢の若者の読解力は世界15位に低下しています。そんな若者たちをサポートする活動について、3つのクラブの記事が掲載されています。

P 32～33 連載「大人の着こなし図鑑」から今月のテーマはベストです。同じスーツ姿でも、いい意味で「違う」男の服装として見せる小物のひとつがベスト。ベストを勧める理由は、①フォーマル度が上がる②ちょっと個性的に演出できる③上着を脱いでもOK④派手なネクタイが使える。といった4つメリットがあるそうです。

P 47 2021年の国際大会開催地の記事です。今月は「ちょっと一息」と題して、台北の2大嗜好飲料、タピオカミルクティーとコーヒーで、地元の文化が味わえる場所を紹介しています。

P 49 ロータリー財団管理委員長からのメッセージは、「日々の選択が平和をもたらす」と題して、世界中のロータリー平和センターで研究されている「積極的平和」についてです。きれいな水を提供する財団の補助金プロジェクトや今月特集された識字率向上プロジェクト等を通して、積極的平和を推進する市民社会のリーダーとして、私たちの役割が拡大していくことが期待されています。

◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智 弘委員
○黒澤信之会長＝本日はセミナー報告、根本会員と高梨会員にはたっぷりとお使いいただき発表下さいます様、よろしくお祈りします。

○宮崎秀剛会員＝本日も宜しくお祈りします。

——各セミナー報告によせて——

- 佐藤慶行幹事 ○相澤 隆会員 ○大平謙一郎会員
- 久米允彦会長 ○佐藤卓立会員 ○佐藤宗弘会員
- 高梨哲男会員 ○寺島秀樹会員 ○根本いずみ会員
- 野尻榮一会員 ○渡辺敬藏会員 ○高橋智弘会員

本日のスマイリングBOX集計14件 28,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム——セミナー報告

○公共イメージ・IT委員会セミナー 根本 いずみ会員



さる8月29日に開催されました、公共イメージ・IT委員会セミナーの参加報告を致します。セミナーは郡山市日和田町の福島県農業総合センターを会場に、13時から15時20分まで88名の出席で行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、会場入口では検温、手指消毒の実施に加え、250名収容可能な広い会場を使用することで、密にならない対応が徹底されていました。

第一部の公共イメージ委員会では、ロータリー認知度アンケート調査と公共イメージ向上戦略について発表がありました。認知度調査は昨年の街頭アンケートに引続き、インターネットアンケートのモニター登録している福島県内の成人2000人を対象に2020年2月21日から23日の期間で行われました。

一般の福島県民にロータリーはどのくらい知られているか、設問数8問の中でも、特に、「ロータリーを見たり聞いたことがある」という人が55%に対し、「ロータリーのロゴマークを見たことがある人」は16%と予想以上に低かったことがいちばんの話題となりました。他には「ロータリーのことを何で知りましたか」については、新聞21%、知人・友人・家族22%が上位となりました。

また、「ロータリーはどんな活動をしている団体だと思

いますか」に対しては「全く知らない」が32%と3分の1を占めるといった残念な結果となりました。

今回の調査を通じて、これからの公共イメージ向上戦略の基本は、長所を更に伸ばし短所を如何に補っていくかに取組みます。今年7月には、福島民報・民友新聞記事にロータリーのロゴマークとOQコード「ロータリーってなんだろ？」を掲載しました。既にお気付の方も多かったと思いますが、今後2回の掲載を予定しており、アクセス数の増加が期待されています。アンケート以外では、2019年7月にはマスコミ懇親会を開催し、各メディアからは「ロータリーの活動をわかりやすくPRしてほしい」や「興味を引く動きのある写真やイベントの話題を提供してほしい」といった率直な意見・要望等を聞く機会となりました。

次に10月24日は「世界ポリオデー」の話題となり、今年も「ポリオのない世界まであと少し」のメッセージが書かれたクリアケースを作成。世界の発生数は99.9%まで減少し、残りあと2カ国(アフガニスタン、パキスタン)となりました。今年の10/24は地区大会が予定されていたが延期となった日でもあります。クラブや地区でできることを、各個人でもSNS等を利用して周知していきましょう、との話がありました。

第二部のIT委員会では、My Rotary登録率向上について、2020年8月時点の2530地区登録率は57.33%という状況です。登録率アップはもちろん、利用率アップも重要な課題であることは委員長からも話がありました。

今年の活動方針として、IT活用を推進するために、ロータリー賞への挑戦支援やWeb会議での例会開催支援、2021年1月23日にはSNS勉強会も開催予定であることが発表されました。My Rotaryもリニューアルされ利用し易くなったそうです。当クラブも今以上の登録率を目指して、私もアカウント登録方法を学んできましたので、ちょっと先輩ぶって新会員の方にお伝えしたいと思います。以上、概略のみとなりましたが報告を終了いたします。

○青少年奉仕委員会セミナー 高梨 哲 男 会員



2020～21年度 青少年奉仕委員会の方針及び活動計画

1、青少年奉仕プログラムの支援
1) インターアクト、12～18才の青少年のリーダーシップや奉仕の精神を養うためのクラブです。2530地区には、18の高校、2つの中学校1つの専門学校の計21のインターアクトクラブがあります。ひとことで言うと、福祉・ボランティア系のクラブ活動が一般的です。

2) ローターアクト、18才～35才
同じく、2530地区には奉仕活動を主力とする、大学3、社会人4、計7つのローターアクトクラブがある。当クラブは、インターアクトもローターアクトもございませんが、要は、卒会を防ぎ、ロータリー予備軍を養成する戦略のようです。

3) RYLA (Rotary Youth Leadership Awards)
18才～35才を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕、道徳的規準平和などロータリーの価値観を学ぶ機会を提供するのが目的。

4) 青少年交換 15～19才の高校生を対象とした、国際理解と親善を目的としたもの

1学年度、又は1～3週間交換プログラムがあります。当クラブも以前毎年のように奉仕をしていたのですが、負担が大きく少ない会員の皆様に、迷惑なようです。

・奉仕はあくまでも手段であり、目的ではないという人もいますので活動にシンパシーを感じるのは、容易ではないようです。

◇閉会点鐘

黒澤 信之 会長

※会報カメラ担当

根本 いずみ 会員